



郡山市医療介護病院及び郡山市医療介護病院介護医療院
の運営状況について（答申）
（対象年度：令和5年度）

令和7年2月12日

郡山市医療介護病院等評価委員会

郡山市医療介護病院等評価委員会委員名簿

(任期：令和4年6月1日～令和7年5月31日)

委員長	土川 研也
委員長職務代理者	小口 正子
委員	岩瀬 次郎
委員	佐藤 竜太
委員	高田 哲也
委員	土屋 貴男
委員	橋本 直子
委員	堀口 ひろみ

令和6年度郡山市医療介護病院等評価委員会開催状況

No.	開催日時	開催場所	議題
1	令和6年 8月21日(水)	郡山市総合福祉センター	○ 令和5年度郡山市医療介護病院等事業報告書に対する評価要領(案)について ○ スケジュールについて
2	令和6年 10月16日(水)	郡山市総合福祉センター	○ 令和5年度郡山市医療介護病院等事業報告書の審査及び評価について
3	令和6年 11月27日(水)	郡山市総合福祉センター	○ 令和5年度郡山市医療介護病院等事業報告書の審査及び評価について
4	令和6年 12月25日(水)	郡山市総合福祉センター	○ 令和5年度郡山市医療介護病院等事業報告書の評価について

「郡山市医療介護病院及び郡山市医療介護病院介護医療院の運営状況について」に係る審査及び評価について

郡山市医療介護病院等評価委員会（以下「本委員会」という。）は郡山市医療介護病院（以下「医療介護病院」という。）及び郡山市医療介護病院介護医療院（以下「介護医療院」という。）の運営状況に関し、郡山市病院及び介護医療院条例の規定により、郡山市長からの諮問を受け、令和5年度医療介護病院等事業報告書の審査及び評価に関することについて、指定管理者である一般社団法人郡山医師会（以下「郡山医師会」という。）から令和6年5月29日に提出された令和5年度事業報告書の内容を、下記のとおり審査及び評価を行った。

記

1 会議の開催

本委員会は、郡山市病院及び介護医療院条例第15条第2項の規定に基づき、郡山市長から医療介護病院及び医療介護病院介護医療院の運営状況について諮問を受け、令和6年8月21日から令和6年12月25日にわたり4回の委員会を開催し、審査及び評価を実施した。

なお、本委員会の開催状況については前頁のとおりである。

2 審査・評価の方法等

医療介護病院は開院18年度目、介護医療院は開所4年度目に当たる令和5年度を、評価対象の事業期間とした。

評価は、病院事業及び介護医療院事業について総合的に評価する全体評価と、「令和5年度郡山市医療介護病院事業計画」の各事業項目及び令和5年度の経営状況等を項目とし、その達成状況や健全性、効率性等を評価する項目別評価により行った。

また、項目別評価の一部について数値目標の達成度による評定基準を導入し、達成度による評価、目標設定の妥当性、取組内容を含めて評価した。

なお、項目別評価の実施に際しては、参考資料として郡山医師会から自己評価を徴し、医療介護病院職員に対するヒアリングについては新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からウェブ会議システムを用いてヒアリングを行い、A・B・C・D・Eの5段階の評点（A：極めて適切である、B：適切である、C：おおむね適切である、D：適切さにやや欠ける、E：適切でない）により評価した。

令和 5 年度郡山市医療介護病院等事業報告書の審査及び評価について

1 全体評価

(1) 評価結果

医療介護病院は開院 18 年度目、介護医療院は開所 4 年度目となった令和 5 年度は、極めて適切に「令和 5 年度郡山市医療介護病院事業計画」に基づいた事業運営がなされ、経営状況については、前年度に引き続きエネルギー価格を含む物価高騰の影響を大きく受けたが、物価高騰対策に係る各種補助金による収益として約 1,696 万円などの特殊要因となる収益により約 1,975 万円の当期純利益を確保するなど、財務の健全性が保たれており、適切に施設運営がなされたものと評価する。

(2) 評価に係る意見

はじめに、令和 5 年度における医療介護病院及び介護医療院の運営は、開院時に掲げた「生命の尊重と個人の尊厳を旨とし、和をもって市民に信頼される保健・医療・福祉サービスを提供します。」という基本理念のもと、次のとおり適切に運営がなされていると評価する。

まず、医療安全体制の推進については、ヒヤリハット報告の積極的な提出とその内容分析のフィードバックを毎月実施し、再発防止に繋がったことは大変評価できる。感染防止対策の推進については、院内組織による定期的なラウンド及びカンファレンスなどの感染防止対策の取り組みが引き続き実施され、また、繰り返し研修を実施し、全職員で院内感染防止に取り組み、新型コロナウイルス感染症の院内感染が発生しなかったことは大変評価できる。

次に、病床機能の充実については、医療療養病棟、介護医療院間での情報共有・連携により、病床稼働率が 93.9%と高い水準で維持され、空床期間ができないように

ベッドコントロールを行えたことは大変評価できる。また、後方支援病院として、開業医・クリニック等からの紹介入院を、昨年度を超える 18 名対応していることは大変評価できる。

次に、外来機能の充実については、昨年度に比べ、新型コロナウイルス感染症等の対応により増加していた内科の外来診療件数が減少したものの、引き続き発熱外来を設置し、お盆期間も外来診療を実施するなど、地域医療に貢献した点は大変評価できる。また、医療機器共同利用（受託検査）の推進については、医療機器共同利用件数が昨年度に比べ減少したものの、依頼医療機関のニーズに合わせて検査実施を行うことができ、地域開業医の後方支援として十分に機能することができた。

次に、介護医療院の適切な管理運営については、介護医療院の療養棟稼働率は 94.1%と昨年度より増加し、高い水準を維持することができた。50 件近い見取りを行うなどターミナルケアとしての役割を果たすことができていると評価できる。また、利用者へのプライバシーの配慮に力を入れるとともに、季節に合わせたイベントの実施をするなど生活の場としてのサービスの充実に力を入れていることは大変評価できる。

次に、経営状況については、過去 5 年間で最大となった昨年度の医業収入から、外来診療件数や通所リハビリテーションの利用件数の減少により微減となったが、昨年度に次ぐ水準であったことは評価できる。また、支出については、エネルギー価格を含む物価高騰の影響を受けながらも一般管理費などの縮減に努め、県等の物価高騰補助金分を差し引いても、当期純利益を確保できていることは評価できる。

その他、予防医学の充実、地域保健医療福祉に関する事項、学術・教育に関する事項、外部評価によるサービス向上への取組、院内組織体制の強化、情報管理体制の整備、医療保険制度・介護保険制度改正に向けての対応が組織的・計画的に実施され、

地域に根ざした保健・医療・福祉サービスの提供ができていることは評価できる。

今後、以下の点に留意され、医療介護病院及び介護医療院がより一層市民からの信頼を得て、効率的で安定した施設運営を実現していくことを期待する。

まず、通所リハビリテーションサービスの充実については、利用件数の目標達成度が95.6%ではあったが、新型コロナウイルス感染症の影響や職員体制の課題などから、今年度は7,536件と前年度比1,031件減少となったことを鑑み、利用件数の回復に向けた方策を検討されたい。

次に、危機管理体制の整備については、災害用備蓄品等の整備目標未達の状況を鑑み、早急に整備を進められたい。

また、特定保健指導の件数や総合相談窓口の相談件数など目標達成度と指定管理者における自己評価にずれがある項目については、目標値の設定について再検討されたい。

最後に、団塊の世代が後期高齢者となる2025年を迎え、また、ポストコロナ時代において、医療介護病院及び介護医療院の担う「医療・介護・保健の拠点」としての役割がますます高まると考えられる。今後も市民により厚く信頼され、地域ニーズに即した質の高いサービスを提供し、全職員が一丸となり、健全経営に取り組まれることを期待する。

2 項目別評価

大項目Ⅰ「令和5年度事業計画の達成状況」については、中項目13項目、小項目35項目により評価を行い、評価は「A：極めて適切である」となった。

大項目Ⅱ「令和5年度の経営状況等」については、小項目2項目により評価を行い、評価は「B：適切である」となった。

各項目の評価に係る意見等については、以下のとおりである。

大項目	I 令和5年度事業計画の達成状況	評点	A
中項目	1 医療安全体制の推進	評点	A
	2 病床機能の充実		A
	3 外来機能の充実		A
	4 介護医療院の適切な管理運営		A
	5 通所リハビリテーションの適切な管理運営		A
	6 予防医学の充実		A
	7 地域保健医療福祉に関する事項		A
	8 学術・教育に関する事項		A
	9 外部評価によるサービス向上への取組		A
	10 院内組織体制の強化		A
	11 情報管理体制の整備		A
	12 危機管理体制の整備		B
	13 医療保険制度・介護保険制度改正に向けての対応		A

中項目	1 医療安全体制の推進	評点	A
小項目	1 医療安全管理に対する取組の推進	評点	A
	2 医療安全に向けた人材育成の推進		A
	3 感染防止対策の推進		A
	4 感染防止に向けた人材育成の推進		A
	5 医療事故・院内感染等発生時の適切な対応について		A

評価に係る意見等	<p>医療安全管理に対する取組の推進については、ヒヤリハット報告の積極的な提出とその内容分析のフィードバックを毎月実施し、再発防止に繋がったことは大変評価できる。</p> <p>また、医療安全に関する研修会に全職員が参加し、研修アンケートの結果を次回の研修企画に反映させるなどの取り組みは評価できる。</p> <p>感染防止対策の推進については、院内組織による定期的なラウンド及びカンファレンスなどの感染防止対策の取り組みが引き続き実施され、全職員で院内感染防止に取り組み、新型コロナウイルス感染症の院内感染が発生しなかったことは大変評価できる。</p> <p>院内で発生した医療事故・介護事故への対応もマニュアルに沿った適切な対応ができています。</p>
----------	--

中項目	2 病床機能の充実	評点	A
小項目	1 医療・介護連携による安定的なベッドの運用	評点	A
	2 後方支援病院としての病床の活用		A
評価に係る意見等	<p>医療・介護連携による安定的なベッドの運用については、医療療養病棟、介護医療院間での情報共有・連携により、病床稼働率が93.9%と高い水準で維持され、空床期間ができないようにベッドコントロールを行えたことは大変評価できる。</p> <p>また、後方支援病院としての病床の活用については、開業医・クリニック等からの紹介入院を、昨年度を超える18名対応していることは大変評価できる。</p>		

中項目	3 外来機能の充実	評点	A
小項目	1 外来診療の実施	評点	A
	2 医療機器共同利用（受託検査）の推進		A

評価に係る意見等	<p>外来機能の充実については、外来診療件数が目標（6,000件）と同程度の実績（5,844件）となった。新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる症状のある方については「発熱外来」で対応し、お盆期間も外来診療するなど地域医療に貢献している点は大変評価できる。</p> <p>医療機器共同利用の推進については、受託医療機関の閉院による減少に伴い、件数も減少したが、目標（420件）と同程度の実績（419件）となった。医療機関からの依頼に至急対応するなどニーズに合わせて対応できた点は評価できる。</p>
----------	--

中項目	4 介護医療院の適切な管理運営	評点	A
小項目	1 看取りケア・ターミナルケア体制の充実	評点	A
	2 生活の場としてのサービスの充実及び地域交流の取組		A
評価に係る意見等	<p>看取りケア・ターミナルケア体制の充実については、令和5年度の入所延べ人数は前年度（27,334人）を超える27,567人となり、それに伴い、療養床の稼働率も前年度（93.7%）よりも高い94.1%となった点は評価できる。50件近い見取りを行うなどターミナルケアとしての役割を果たすことができていると評価できる。</p> <p>また、利用者へのプライバシーの配慮に全職員で力を入れるとともに、季節に合わせたイベントの実施やボランティアとの交流を実施するなど、生活の場としてのサービスの充実に力を入れていることは大変評価できる。</p>		

中項目	5 通所リハビリテーションの適切な管理運営	評点	A
小項目	1 通所リハビリテーションのサービスの充実	評点	A
	2 多職種連携による口腔機能向上の取組		A

評価に係る意見等	<p>通所リハビリテーションサービスの充実については、職員の人員減等により利用件数が目標（7,880件）を下回る実績（7,536件）となったが、多職種によるカンファレンスを年315回実施し、利用者の現状把握・QOLの向上に向けて取り組んでいる点は評価できる。利用件数回復に向けた方策について検討が望まれる。</p> <p>また、クラブ活動に多くの利用者が参加しており、在宅生活支援の取り組みを実施している点も評価できる。</p> <p>多職種連携による口腔機能向上の取組状況については、歯科衛生士の体制を整え、介入延べ件数が前年度の1,323件から1,268件に減少したものの、前年度に引き続き、全利用者に対して栄養アセスメントを行えた点は大変評価できる。歯科衛生士と管理栄養士が連携し、食事形態を検討・調整し、利用者の食事摂取量の安定を図ることができる取り組みといえる。</p>
----------	--

中項目	6 予防医学の充実	評点	A
小項目	1 各種健康診査（在宅療養者の健康診査を含む）の充実	評点	A
	2 特定保健指導・加齢度測定健診の実施		B
	3 予防接種事業への協力		A
評価に係る意見等	<p>各種健康診査（在宅療養者の健康診査を含む）の充実については、令和4年度から実施した乳がん検診の開始等により、健康診査の実施件数は目標（1,000件）を大きく上回る実績（1,323件）となっている。</p> <p>特定保健指導の実施については、昨年度と同じ件数（33件）となり、目標（50件）を下回ったが、特定保健指導・加齢度測定検査の件数増加を目指し、プロジェクトチームを作り、啓蒙・啓発のためのチラシを作成し、配布を行っていることは評価できる。</p> <p>予防接種事業への協力については、新型コロナウイルスワクチン接種の摂取は減少したものの、インフルエンザなどの予防接種については、前年度と同程度の対応しており、全体で2,150件の接種を行い、地域医療に大きく貢献している点は評価できる。</p>		

中項目	7 地域保健医療福祉に関する事項	評点	A
小項目	1 在宅療養支援体制の強化	評点	A
	2 地域に向けた認知症対策事業の推進		A
	3 地域に向けた健康相談、健康教育の開催		A

	4 総合相談機能の充実		A
	5 在宅医療・介護連携支援センター事業の推進		A
評価に係る意見等	<p>在宅療養支援体制の強化については、新型コロナウイルス感染症などの感染症対策を講じながら、対面での活動を段階的に再開し、ICT ツールの活用による研修会やアンケートの実施により、医療と介護の連携が図られている。</p> <p>地域に向けた認知症対策事業の推進については、院内でのオレンジカフェを再開し、12 回開催、認知症サポーター養成講座を目標通り 6 回開催することができている。</p> <p>地域に向けた健康相談、健康教育の開催については、出前講座、市民公開講座を目標通り開催できたことは評価できる。</p> <p>総合相談機能の充実については、相談件数が 659 件（前年度比 158 件減）であったが、専門職の常駐により、相談しやすい環境を整えた点は評価できる。</p> <p>在宅医療・介護連携支援センター事業の推進については、郡山地域連携パス協議会を 3 回開催し、顔の見える関係づくりに取り組み、また、MCS の普及に向け、活動を行い、MCS 登録者数及び活用数が増えたことは評価できる。</p>		

中項目	8 学術・教育に関する事項	評点	A
小項目	1 教育研修の計画的な推進と調査研究の協力	評点	A
	2 ユマニチュード®の実践への取組と推進		A
	3 医療・介護専門職育成への取組		A
	4 郡山看護専門学校への協力		A
評価に係る意見等	<p>教育研修の計画的な推進と調査研究の協力については、年間計画に基づき研修を実施し、また、学会発表やシンポジウム参加など積極的な取り組みがみられる。</p> <p>ユマニチュード®の実践への取組と推進については、院内研修、外部研修などを 5 回開催し、日本ユマニチュード学会のブロンズ認証取得のための準備を進めている。</p> <p>医療・介護専門職育成への取組については、複数の学校からの実習受入を対応している点は、地域医療に貢献する取り組みといえる。</p> <p>郡山看護専門学校への協力については、学校への講師派遣が適切に実施され、健康診断、予防接種への協力も行っている。</p>		

中項目	9 外部評価によるサービス向上への取組	評点	A
小項目	1 外部機関による評価・認証の取得推進	評点	A

	2 利用者の満足度の向上		A
	3 病院広報の充実に向けた取組		B
評価に係る意見等	<p>外部機関による評価・認証の取得推進については、日本ユマニチュード学会のブロンズ認証の審査を受けるなど積極的な取り組みが見られる。</p> <p>利用者の満足度の向上については、職員の対応・施設環境面共に「大変良い・良い」との回答が概ね 9 割以上であった点は大変評価できる。病院広報の充実に向けた取組については、パンフレットの見直しに向けた検討などの取り組みはみられるが、改訂版の発行や目標通りの広報誌の発行には至っていないことから、広報への取り組みの強化を努められたい。</p>		

中項目	10 院内組織体制の強化	評点	A
小項目	1 求められている人材の確保及び育成	評点	A
	2 労働安全衛生の充実		A
評価に係る意見等	<p>求められている人材の確保及び育成については、一部の専門職員の確保に苦慮しているとのことだが、施設基準（運営基準）を下回ることなく職員を充足させることができたことは大変評価できる。</p> <p>労働安全衛生の充実については、前年度に引き続き職員の健康診断受診率、ストレスチェック制度の参加率ともに 100%を達成することができたことは大変評価できる。</p> <p>また、予防の観点から、ラジオ体操や腰痛予防ストレッチを毎朝実施するなど職員の健康の維持増進に取り組んでいることは評価できる。</p>		

中項目	11 情報管理体制の整備	評点	A
小項目	1 情報セキュリティリスクの対応推進	評点	A
	2 DX化に向けた取組の推進		A

評価に係る意見等	<p>情報セキュリティリスクの対応推進については、個人情報と法令順守の研修受講率が録画映像の活用などにより、昨年度の 43.8%から 100%に向上したことは大変評価できる。</p> <p>DX化に向けた取組の推進については、院内情報化を推進するために、情報化プロジェクトチームを設置し、具体的な検討を進めたことは評価できる。</p>
----------	---

中項目	12 危機管理体制の整備	評点	B
小項目	1 事業継続計画（BCP）の運用と見直し	評点	B
	2 防災訓練の実施及び関係機関との連携状況		A
	3 災害用備蓄品等の整備と見直し		B
評価に係る意見等	<p>事業継続計画（BCP）の運用と見直しについては、令和6年3月に「自然災害編」、「新型感染症発生対応編」の事業継続計画を策定し、運用を開始したことは評価できる。運用後の見直しまでには至らなかったとのことであるが、柔軟な見直しを可能とする体制づくりに取り組まれない。</p> <p>防災訓練の実施及び関係機関との連携状況については、総合防災訓練（避難訓練）、夜間想定防災訓練を2回実施し、地域住民、看護学校、消防署と合同で取り組んだことは評価できる。</p> <p>災害用備蓄品等の整備と見直しについては、業務継続計画で日用品や医薬品のほか職員用の非常食等についても規定したが、運用後の拡大備蓄までには至っていないことから、早急に取り組み、非常用備品・非常用食品の整備目標を達成できるよう努められたい。</p>		

中項目	13 医療保険制度・介護保険制度改正に向けての対応	評点	A
評価に係る意見等	令和6年度の医療保険制度（診療報酬）、介護保険制度（介護報酬）改正に向けた情報収集及び検討を行い、令和6年4月から改正となる介護保険制度（介護報酬）の届出を行った。		

大項目	II 令和5年度の経営状況等	評点	B
小項目	1 経営状況の健全性	評点	B
	2 経営効率化のための取組み		A
評価に係る意見等	<p>経営状況については、令和5年度の収支決算は黒字であった。</p> <p>医業収入は、高い病床等の稼働率を維持し、過去5年で最大のものであった前年度に次ぐ水準であったが、エネルギー価格を含む物価高騰の影響を受け、医業収益率、経常利益率がマイナスとなった。</p> <p>しかしながら、物価高騰の影響を最小限に抑えるため職員が協力し、一般管理費などの縮減に努めており、電動ベッドや電子カルテの計画的な更新を進めるなどしており、その中で、県等の補助金約1,696万円を差し引いても当期純利益を確保できた点は評価できる。</p>		

【参考】評価項目一覧

大項目 I 令和 5 度事業計画の達成状況

中項目	小項目	評価の視点
1 医療安全体制の推進	1 医療安全管理に対する取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・KYT（危険予知訓練）の実施状況 ・医療安全ラウンドの実施状況 ・病院全体での5S活動実施状況
	2 医療安全に向けた人材育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全に関する研修の実施状況 ・医療安全管理者養成研修への参加状況
	3 感染防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止に向けた取組状況
	4 感染防止に向けた人材育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止に関する研修の実施状況 ・感染対策専門家養成研修への参加状況
	5 医療事故・院内感染等発生時の適切な対応について	<ul style="list-style-type: none"> ・医療事故発生時の対応状況 ・院内感染発生時の対応状況
2 病床機能の充実	1 医療・介護連携による安定的なベッドの運用	<ul style="list-style-type: none"> ・入院延べ人数及び病床の稼働状況
	2 後方支援病院としての病床の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・開業医・クリニック等からの紹介状況
3 外来機能の充実	1 外来診療の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・外来診療の実施実績
	2 医療機器共同利用（受託検査）の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器共同利用（受託検査）の実施実績
4 介護医療院の適切な管理運営	1 看取りケア・ターミナルケア体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・入院延べ人数及び療養床の稼働状況 ・看取りの状況
	2 生活の場としてのサービスの充実及び地域交流の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・生活施設としてのサービス内容 ・地域との交流状況
5 通所リハビリテーションの適切な管理運営	1 通所リハビリテーションのサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・通所リハビリテーションの運営状況 ・リハビリ・クラブ活動の実施状況
	2 多職種連携による口腔機能向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携による口腔機能向上の取組状況
6 予防医学の充実	1 各種健康診査（在宅療養者の健康診査を含む）の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各種健康診査の実施実績
	2 特定保健指導・加齢測定健診の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導の実施実績
	3 予防接種事業への協力	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種事業への協力状況
7 地域保健医療福祉に関する事項	1 在宅療養支援体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの推進に向けた取組内容 ・病診連携によるかかりつけ医への支援状況
	2 地域に向けた認知症対策事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジカフェの充実に向けた取組状況 ・認知症サポーター養成講座の実施実績 ・認知症初期集中支援チームへの協力状況

中項目	小項目	評価の視点
7 地域保健医療福祉に関する事項	3 地域に向けた健康相談、健康教育の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施実績 ・公開講座の実施実績
	4 総合相談機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談機能の充実に向けた取組状況
	5 在宅医療・介護連携支援センター事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・郡山医師会病診連携室連絡協議会への協力状況及び郡山地域連携パス連絡協議会の運営状況 ・在宅医療・介護連携構築に向けた事業の推進状況 ・ICTの活用と推進状況
8 学術・教育に関する事項	1 教育研修の計画的な推進と調査研究の協力	<ul style="list-style-type: none"> ・全体研修・部門別研修の充実に向けた取組状況 ・学会発表の推進に向けた取組状況 ・共同研究及び調査研究の協力状況
	2 ユマニチュード®の実践への取組と推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ユマニチュード®研修の充実に向けた取組状況 ・ユマニチュード®に係る研究事業の推進状況
	3 医療・介護専門職育成への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・看護実習・介護福祉士実習受入の取組状況 ・医師、その他専門職実習受入体制の充実に向けた取組状況
	4 郡山看護専門学校への協力	<ul style="list-style-type: none"> ・看護専門学校への協力状況
9 外部評価によるサービス向上への取組	1 外部機関による評価・認証の取得推進	<ul style="list-style-type: none"> ・日本ユマニチュード学会認定の認証申請に向けた取組状況 ・日本医療機能評価機構の機能評価取得に向けた取組状況
	2 利用者の満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇研修の実施状況 ・受診者満足度調査の結果
	3 病院広報の充実に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・病院広報（パンフレット・ホームページ等）の充実に向けた取組状況
10 院内組織体制の強化	1 求められている人材の確保及び育成	<ul style="list-style-type: none"> ・必要人員確保に向けた取組状況 ・人材育成の推進状況
	2 労働安全衛生の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生の充実に向けた取組状況
11 情報管理体制の整備	1 情報セキュリティリスクの対応推進	<ul style="list-style-type: none"> ・職員に対する情報システム・管理等の周知徹底のための取組状況
	2 DX化に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・院内におけるDX化に向けた取組状況
12 危機管理体制の整備	1 事業継続計画（BCP）の運用と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続計画（BCP）作成後の取組状況
	2 防災訓練の実施及び関係機関との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の実施状況 ・災害対策への協力状況
	3 災害用備蓄品等の整備と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・災害用備蓄品等の整備状況
13 医療保険制度・介護保険制度改正に向けての対応		<ul style="list-style-type: none"> ・医療保険制度・介護保険制度改正に向けた対応状況

大項目Ⅱ 令和5年度の経営状況等

中項目	小項目	評価の視点
	1 経営状況の健全性	令和5年度の経営状況
	2 経営効率化のための取組み	経営効率化のための取組状況